

令和

6

年度

第

3

学年

作業学習（家庭総合科）

年間指導計画

●黄色いセルに入力可能です



はブルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭 後藤 幸来

使用教科図書 (学校教育法附則第9条 の規定による)	なし	使用 副教材	自作教材
----------------------------------	----	-----------	------

目標	・受注生産や販売活動などの勤労体験を通し、社会参加・自立に必要な基礎的・基本的な思考力、判断力、表現力を育てる。 ・仲間との適切なコミュニケーションを図り、協力して効率的に作業を行うことができる。
----	---

月	単元題材	単元 担当		目標	主な学習内容	指導内容表
4	オリエンテーション	後藤	技 知 能 識	製品作りの工程を覚えることができる。	オリエンテーション ・個人目標設定 ・1年間の予定 ・3学年で行う作業について (縫工、革工、紙すき、 エコ石鹸作業) ・受注製品の確認 (校内受注：名刺、液体エコ石鹸) (外部受注：ピリカ旧石器文化館 レターセット等) ・共通作業種 (車椅子清掃、回覧作業、レク補助)	課題意識 2-10、13 知識・理解 20-27、29-39 処理数 40、42-46 時刻時間 47-51 コミュニケーション 52-66 忍耐力 73-76
5 6 7	受注製品の製作と 納品	後藤	技 知 能 識	製品作りの工程を理解し、正確に作業を することができる。	エコ石鹸作業 ・固形石鹸(5月上旬のみ) ・液体石鹸 - 紙すき ・名刺 ・レターセット ・一筆箋 - 共通作業種 ・車椅子清掃、回覧作業、レク補助	課題意識 2-10、13 知識・理解 20-27、29-39 処理数 40、42-46 時刻時間 47-51 コミュニケーション 52-66 忍耐力 73-76
8 9 10 11	学校祭販売用の製 品製作	後藤	技 知 能 識	製品作りの工程を理解し、正確に作業を することができる。	縫工作業 ・販売製品の検討、製作 革工作業 ・販売製品の検討、製作 紙すき ・販売製品の検討、製作 受注製品の製作、納品（随時） コラボ ・リース	課題意識 1-14 知識・理解 19-27、29-39 処理数 40-46 時刻時間 47-51 コミュニケーション 52-72 忍耐力 73-76
12 1 2 3	町内挨拶回りの製 品製作 卒業制作 2学年販売会用の製 品製作	後藤	技 知 能 識	製品作りの工程を理解し、正確に作業を することができる。	卒業制作 ・作品の検討、制作 販売会用製品 ・製品の検討、製作 挨拶回り用製品 ・製品の検討、製作 共通作業種 ・車椅子清掃、回覧作業、レク補助	課題意識 1-14 知識・理解 19-27、29-39 処理数 40-46 時刻時間 47-51 コミュニケーション 52-72 忍耐力 73-76
			思 判 表	作業予定を把握し、見通しをもって作業 をすることができる。		
			態 度	挨拶や返事、報告などを自ら率先して行 うことができる。		
			思 判 表	自分から声を掛け、仲間と協力して作業 をすることができる。		
			態 度			

令和 6 年度

3 学年

作業学習（家庭総合科）

シラバス

年間目標		・受注生産や販売活動などの勤労体験を通し、社会参加・自立に必要な基礎的・基本的な思考力、判断力、表現力を育てる。 ・仲間との適切なコミュニケーションを図り、協力して効率的に作業を行うことができる。	
	単元題材	目標	学習内容
4	オリエンテーション	知識・技能	製品作りの工程を覚えることができる。
		思考力・判断力・表現力等	作業に必要な道具を覚えたり、取り組む時間を考えることができる。
		学びに向かう力、人間性	挨拶や返事、報告などを自ら率先して行うことができる。
5 6 7	受注製品の製作と納品	知識・技能	製品作りの工程を理解し、正確に作業をすることができる。
		思考力・判断力・表現力等	作業予定を把握し、見通しをもって作業をすることができる。
		学びに向かう力、人間性	自分から声を掛け、仲間と協力して作業をすることができる。
8 9 10 11	学校祭販売用の製品製作	知識・技能	製品作りの工程を理解し、正確に作業をすることができる。
		思考力・判断力・表現力等	作業予定を把握し、効率を考えながら作業をすることができる。
		学びに向かう力、人間性	報告、連絡、相談など社会で必要となる基本的なコミュニケーションを自ら行うことができる。
12 1 2 3	町内挨拶回りの製品製作 卒業制作 2 学年販売会用の製品製作	知識・技能	製品作りの工程を理解し、正確に作業をすることができる。
		思考力・判断力・表現力等	効率よく作業する方法を考え、実践することができる。
		学びに向かう力、人間性	報告、連絡、相談など社会で必要となる基本的なコミュニケーションを自ら行うことができる。